



「高根沢こ線道路橋新設工事 武子川橋りょう改築工事 見学会」 関東支部

関東支部では、2026年1月20日（火）～21日（水）に現場見学会を開催し8社15名の皆様が参加しました。

今回は工事が進んでいる2箇所を見学する内容で開催しました。

最初の工事現場は、一般国道408号線の宇都宮高根沢バイパス新設に伴い、東北本線上にこ線橋を新設する工事です。工事は2022年10月から始まり、鋼桁長約50m、約410トンの橋桁を1,350tクローラークレーンにて一括架設するもので、2025年8月に道路下り線側を、2026年1月に道路上り線側を架設した場所となります。当日は、これまでの架設状況をご説明いただいた後、クレーンはほぼ解体されていましたが、全国に数台しかないクレーンの一部を近くで見ると大迫力な光景でした。



二つ目の工事現場は、日光線鶴田・鹿沼間の武子川橋りょうの改築工事です。浸水被害が頻発している栃木県の武子川改修工事に伴い橋りょうを改築する工事です。工事は2024年7月から始まり、これまで薬液注入、既設橋りょうの撤去や工事桁の架設等が完了していました。当日は、撤去した既設橋りょうがヤード内に仮置きされており、撤去方法で工夫されたコの字吊り天秤や今後のPRC桁の架設等についてご説明いただきました。

今回、見学会開催にあたりましてご対応いただきました関係各社様にお礼申し上げます。（長）